

第 24 回ヘルスカウンセリング学会学術大会

テーマ：「身体違和感の世代間連鎖からの再出発—本当の家族の姿と巡り合う」

日 時：平成 29 年 9 月 23・24 日（土・日）

会 場：筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 D 1 階

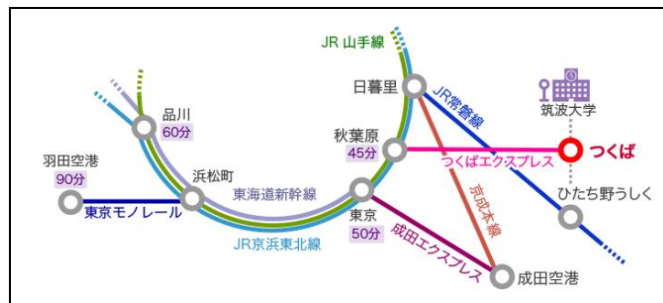
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

※つくばエクスプレス 秋葉原駅から快速 45 分、「つくば駅」下車+バス (10 分) ※バス乗り場は「つくば駅」A3 出口を出て、バスターミナルの 6 番乗り場です。「筑波大学中央行」行きにご乗車ください。

※筑波大学総合研究棟 D へは筑波キャンパス内のバス停「平砂学生宿舍前」(右回り循環) あるいは「天久保池」(左回り循環) 下車、徒歩 5 分。

※お車での来場可 (駐車場無料) ※敷地内禁煙

※詳しい会場案内、交通案内は抄録等でご案内いたします。



【 9 月 23 日 (土) 】

| | |
|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 11:00~12:00 | 運営委員による総会 |
| 12:30 | 一般受付開始 |
| 12:50 | 開会式 |
| 13:00~14:30 | 基調講演、市民公開講座 (本講座のみ会員以外は参加費無料) 「身体違和感の世代間連鎖からの再出発—SAT 療法で本当の家族の姿と巡り合う」 宗像恒次 (NPO 法人ヘルスカウンセリング学会長、筑波大学名誉教授) |
| 14:40~15:10 | 教育講演「SAT 心理療法と他の心理療法の違いを日米で体験する」 北本宏明 (筑波大学発 SDS 情動認知行動療法研究所客員研究員) |
| 15:20~16:40 | 一般演題ポスター発表 I~VIII |
| 17:00~17:50 | 懇親会 |
| ナイトサイエンスセミナー (特別講演+ナイトサイエンス) | |
| 18:00~19:00 | 特別講演 「意思決定にかかわる社会的情動の神経基盤」 高橋英彦 (京都大学准教授) |
| 19:00~20:00 | ナイトサイエンス (高橋英彦先生を囲んで飲食をしながらの交流) |

【 9 月 24 日 (日) 】

| | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 9:00 | 受付開始 |
| 9:20~10:40 | シンポジウム I 「SAT 療法による開業の勧め」 山本潤一 (日本メンタル再生研究所) 矢島京子 (カウンセリングオフィス YAJIMA) 田中京子 (カウンセリングオフィス KR) |
| 10:50~11:50 | 特別講演「新しいうつ病の科学」 功刀浩 (国立精神・神経医療研究センター疾病研究第三部部长) |
| 13:20~14:40 | シンポジウム II 「SAT 心理療法の臨床への応用」 竹馬康裕 (竹馬クリニック) 中嶋一恵 (筑波大学発 SDS SAT 療法センター) 西川範彦 (株式会社玄米酵素大阪営業所) |
| 14:40~15:00 | 学会長・エクセレント賞授与式・閉会式 |

第 24 回ヘルスカウンセリング学会学術大会

テーマ：「身体違和感の世代間連鎖からの再出発—本当の家族の姿と巡り合う」

日時：平成 29 年 9 月 23・24 日（土・日）

会場：筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 D 1 階

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1

演者プロフィール

【 9 月 23 日（土） 】

基調講演 「身体違和感の世代間連鎖からの再出発—本当の家族の姿と巡り合う」



宗像恒次氏（ヘルスカウンセリング学会長、筑波大学名誉教授）

保健学博士（東京大学医学系）。UCLA 医学部神経精神医学研究所客員研究員、ハーバード大学医学部客員研究員、世界保健機関(WHO)薬物依存局顧問・エイズ世界対策局顧問、国立精神・神経センター精神保健研究所研究室長、筑波大学大学院教授ヒューマン・ケア科学専攻長をへて、現在宗像塾長、筑波大学名誉教授、筑波大学発 SDS 情動認知行動療法研究所長、Outstanding Intellectuals of the 21st Century Award, England、2010、GREAT MINDS OF THE 21ST CENTURY AWARD, NORTH CAROLINA, USA、2010 を受賞された。

※宗像恒次先生の基調講演は市民公開講座となり、学会員以外の方は本講座のみ参加費無料です。

教育講演 「SAT 心理療法と他の心理療法とを日米で体験する」



北本宏明氏（筑波大学発 SDS 情動認知行動療法研究所客員研究員）

コロンビア大学大学院(MBA)修了。筑波大学大学院人間総合科学研究科ストレスマネジメント専攻修了（保健学修士）住友商事株式会社、モルガン・スタンレー証券、シュローダー投信投資顧問などを経て現職。自身の慢性疲労症候群の治療のために、日米で様々な療法を体験してことに基づいて SAT 療法との比較検討を Journal of Health Counseling に論文掲載する。

特別講演 「意思決定にかかわる社会的情動の神経基盤」



高橋英彦氏（京都大学准教授）

東京医科歯科大学博士（医学）。2010 年現職。脳病態生理学講座を担当されている。同准教授は、精神科の医師としての臨床経験に基づき、心理学、経済学、法学、哲学の知見や理論を踏まえ、意思決定の脳内メカニズムを検討する研究を進めてきた。その結果、罪悪感、羞恥心、自尊心、同情、妬みや「他人の不幸は蜜の味」と呼ばれる情動や、それらの情動が影響するモラル判断、司法判断などの社会的な意思決定に関わる脳内過程を fMRI と呼ばれる脳イメージングの手法によって、明らかにした。2013 年に日本学術振興会賞を受賞された。

【 9 月 24 日（日） 】

特別講演 「新しいうつ病の科学」



功刀浩氏（国立精神・神経医療研究センター疾病研究第三部部长）

東京大学医学部卒。ロンドン大学精神医学研究所留学。帝京大学医学部精神神経科学教室講師を経て、2002 年現職。医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会指導医。日本生物学的精神医学会評議員、日本精神・行動遺伝医学会理事のほか、Molecular Psychiatry 誌の Editorial Board、The Open Neuropsychopharmacology Journal の Co-Editor-in-Chief などを務める。